



URL : <http://www.himawaridc.com/>

## 予防歯科に注目!

### 海外の予防歯科事情

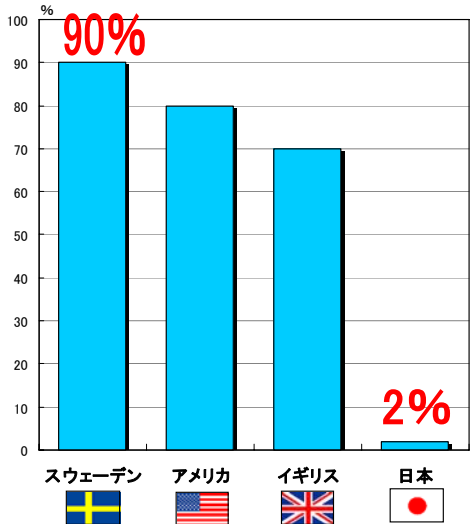


日本では、歯が痛くなつたら歯医者にかかるというのが一般的ですよね。しかし、海外では歯科検診が無料で受けられるなど国を挙げて予防歯科に取り組んでいる国もあります。

オランダでは、半年に一度の歯科検診が義務化されており、18歳以下のオランダ国籍所有者は無料で検診を受けられます。

スウェーデンでは20歳まではどんな歯科治療(矯正治療も!)も無料です。(成人は7割負担、それでも定期受診される方が80%)さらに、水道水には虫歯予防に効果があるとされるフッ素化合物が添加されていて、これはアメリカなどでも行われています。

### 歯科定期検診・クリーニング受診者の割合



またひまわり通信34号でもご紹介しましたキシリトール(虫歯の原因となるミュータンス菌の活動を抑える)も北欧から入ってきており、海外の歯に関する意識は見習うところがあるでしょう。

実際ある調査によると、日本では80才の方の残存歯(残っている歯)の数は平均4~5本と言われています。ところが、歯を守る歯科医療が定着しているアメリカ、スウェーデン、フィンランドなどの予防歯科先進国では、80才の方の残存歯数は15本~20本になっています。

では、海外では何故そのような取り組みが行われているのでしょうか?

### 年二回の定期検診で総医療費減少

豊田加茂市歯科医師会の調査によれば、年に二回歯石の除去などで通院する人と、その他の一般の人とでは総医療費に差がつかうことがわかりました。

定期的に通院をする人は46歳までは医療費が高くなりますが、その年齢を超えると一般の人の方が高くなります。65歳では一般の方の年間平均医療費が35万円なのに対し、歯科定期受診者は20万円以下となり、年齢の増加とともに医療費の格差は広がって

## 放って置くお口の健康は大敵!

【歯の裏についた歯石】



【歯が折れて根だけの歯】



いくようです。

このように、メンテナンスの受診頻度が歯の寿命だけでなく、その後の健康に大きく影響を及ぼしています。そこで予防歯科先進国と言われる諸外国では、国が歯科受診に力を入れているのです。

現在日本では、医療・介護にかかる費用が増大し、持続可能な保険制度にすべく、様々な議論がなされています。

確かに制度の問題も重要ですが、私たち個人の次元で考えると、健康で長生きすることが、お金もかけずに幸せな老後を過ごすことに繋がるのではないのでしょうか?

その為に、まずは自分で出来ることから始めてみませんか?

## 定期的な歯科受診が大切!

食後や就寝前の歯磨き等、口腔ケアにしつかり取り組むだけでなく、定期的な歯科受診をお勧めします。「後悔先に立たず」先人の言葉を大切にしたいですね。